

(別紙) 栽培計画書

栽培名	チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ ( <i>cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (1507×NK603, OECD UI: DAS-Ø15Ø7-1×MON- ØØ6Ø3-6)の展示栽培
実施場所	デュポン株式会社
公表年月日	平成 23 年 4 月 27 日
1. 展示栽培の目的・概要	
(1) 目的	
既に日本での安全性が確認され、米国等で商業栽培されている 1507 系統と NK603 系統を掛け合わせた除草剤耐性及び害虫抵抗性の効果をご覧ください。	
(2) 概要	
本栽培は、デュポン株式会社宇都宮事業所内の隔離ほ場において、平成 23 年 4 月下旬から平成 23 年 8 月中旬に行う予定です。除草剤に耐性を示すこと及び害虫に抵抗示すことをご覧ください。従来、トウモロコシと一緒に栽培します。	
なお、トウモロコシの原種と考えられているテオシント等と一緒に栽培し、トウモロコシの品種改良の歴史をご覧ください。予定です。	
2. 栽培に使用する作物	
(1) 作物の名称	
チョウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ ( <i>cry1F, pat, cp4 epsps, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (1507×NK603, OECD UI: DAS-Ø15Ø7-1×MON- ØØ6Ø3-6)	
(2) これまでの安全性評価の経緯	
平成 17 年 3 月 25 日 : カルタヘナ法 (遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律) に基づく第一種使用規程 (食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為) の安全性審査の手続き終了	
平成 16 年 3 月 3 日 : 遺伝子組換え食品及び添加物の安全性審査の手続き終了	
平成 15 年 9 月 1 日 : 組換え DNA 技術応用飼料及び飼料添加物の安全性確認の手続き終了	
3. 栽培予定期間	
平成 23 年 4 月下旬～平成 23 年 9 月中旬。	
平成 23 年 4 月下旬 : 播種	
平成 23 年 6 月下旬～8 月中旬 : 見学会実施	
平成 23 年 9 月中旬 : 栽培終了及び展示栽培植物の撤去	

4. 栽培区画の面積及び位置

(1) 第1種使用規程承認作物の栽培規模： 25.6m<sup>2</sup>

(2) 栽培区画の位置： 栃木県宇都宮市清原工業団地 19-2  
デュポン株式会社 宇都宮事業所内の隔離ほ場  
(添付の図参照)

5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項

交雑防止措置として、開花前に除雄を行います。

6. 栽培終了後の使用規程承認作物の処理方法

栽培終了後の植物体は、鋤き込み処理を行います。

7. 栽培に係る情報提供に関する事項

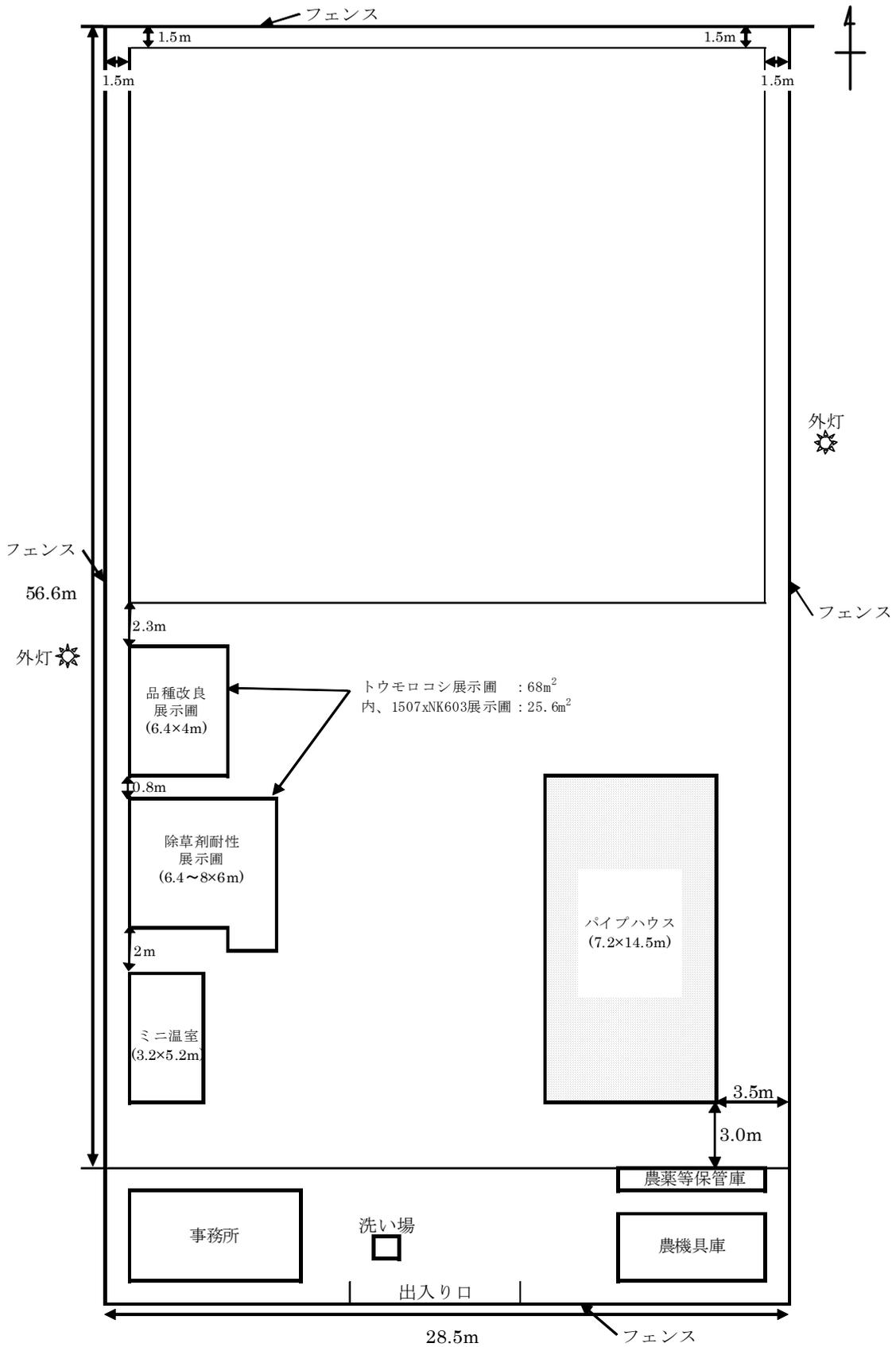
本展示栽培に係わる連絡先：

デュポン株式会社 バイオテクノロジー事業部

電話番号：03-5521-2476

FAX 番号：03-5521-2388

Eメール：[DuPont.Biotech@jpn.dupont.com](mailto:DuPont.Biotech@jpn.dupont.com)



隔離ほ場全体図



デュポン株式会社 宇都宮事業所周辺地図